

平成29年度社会福祉法人福鳳会事業計画書

1 法人の基本理念

福鳳会は、つぎの「基本理念」を、運営の目標、経営判断の基準及び職員の行動規範として、引き続きその実現を旨としていく。

- 高齢者の生活と人権を尊重し、公正で開かれた施設運営に努めます。
- 高齢者が地域で安心して生活を送ることができる拠点施設となるように努めます。
- 施設は、利用者の社会生活の場として位置づけ、安全で安心した日常生活を送ることができる環境づくりに努めます。
- 職員は、常に満足のいただけるサービスが提供出来るように励み、地域社会活動にも積極的に関わり、地域から求められる施設となるように努めます。

2 法人の経営方針

福鳳会は、基本理念の下、ご高齢者やご家族が憂いなく安心して暮らせる地域づくりに貢献していくための基本的な取り組みとして、まず第一に、「敬老愛護」の精神に基づく高質のサービス提供に一層努めていく。また第二に、質の高いサービスを提供する原資を得るために経営の安定化に取り組んでいく。第三に、職員が安心して働ける環境づくりに努めていく。第四に、制度や地域のニーズ変化に対応した高齢者サービスについて不断の研究を行い、対応に努めていく。第五に、社会福祉法人制度改革に関わるガバナンスの強化などに引き続き取り組む。

これらの取り組みを着実に進めるとともに、平成29年度は、以下の3つの具体的な柱を重点に取り組む。

(1) 敬老愛護、お客さまファーストと安定した経営の両立

《収入の向上》

福鳳会は、活動増減差額は縮小しつつあるものの、現在は、依然として職員数や費用に見合った収入が得られていない状況にある。福鳳会が引き続き質の高いサービスを持続的に提供していくためにも、費用に見合う水準の収入が不可欠である。

介護サービスは、通常の事業とは異なって固定費の割合が著しく高いことから、(単価が一定なら)稼働率のわずかな変動が、収支を大きく変動させる特性を持っている。

このことを踏まえ、福鳳会は、主に敬老愛護、お客様ファーストの追究によって、ご利用者、ご家族、地域に「選ばれる福鳳会」を目指し、それに伴うご利用者の増加によって稼働率を向上させていく道を選択し、併せて、サービス水準の向上に伴う単価上昇(加算の取得等)によって収入の確保を図る。

① 職員の資質向上によってご利用者の満足向上を図る

「選ばれる福鳳会」となるため、職員の介護力の向上とともに、ご利用者に不安を与えない接遇やコミュニケーション力の向上等に向けた職員の成長を支援していく。

- 職員に期待される資質、マインド、スキル、知識等を明示することで、職員個々の努力の方向を示す新たな職能評価制度を導入する。
- 職員の成長に寄与する施設内外の研修の充実や自己啓発研修の支援を行う。
- 職員の自発的な努力に応える新しい給与体系を導入する…（2）参照

② 他に少ない、価値のある、特色ある安心のサービスの充実強化を図っていく

機能訓練の向上など各部門や職種ごとに強みと弱みを分析することで、「他に少ない、価値のある、特色ある安心のサービス」の再発見とその強化に取り組むとともに、部門を超える組織的な対応や予算が必要なものについては、各部門や法人全体が設置する、サービス向上委員会、事故対策委員会、介護力向上委員会、機能訓練推進委員会、栄養管理委員会、褥瘡予防委員会、苦情対策委員会、マニュアル委員会などの場において、重点課題として取り上げ、サービスの一層の充実に努める。

③ ご利用者に安心していただける環境やサービスの実現に努める

- 各部門において安全の確保に取り組むとともに、事故対策委員会、栄養管理委員会、感染症対策委員会、苦情対策委員会、災害対策委員会などの場において重点課題を設定し、安全の確保や事故対策の水準の向上に取り組む。
- 特に入所部門では、利用者の入院が稼働率に直結することもあり、ご利用者の体調管理や安全管理に一層努めていく。

④ 新たなサービス等に取り組む

制度の変化や地域の状況の変化に対応した新たなサービス等に取り組む。

- 新しい総合事業への対応を進める。
 - ・ デイサービスセンター：新しい総合事業の通所型サービスAへの参入
 - ・ 訪問サービスセンター：新しい総合事業の訪問型サービスAへの参入
 - ・ デイサービスセンターの新しい総合事業通所型Cや、高志の郷デイサービスセンターの新しい総合事業通所型サービスAの継続的検討
- 訪問サービスセンターの高志の郷サテライトを拠点に訪問介護サービスの強化に取り組む。
- 訪問入浴事業の再開に向けて人材の確保と体制の検討を進める。
- 本館改修の検討に併せて新たな在宅系サービスを検討する。…（3）参照

⑤ 居宅介護支援事業所等へのPRや連携の強化に取り組む

ご利用者の受け入れについて、居宅介護支援事業所との協力関係の強化に努め

ていくとともに、福鳳会の取り組みを居宅介護支援事業所などに理解してもらう取り組みを強める。

⑥ 運営への地域ニーズの反映や関係機関との連携を推進する

- 定款で新たに設置する「運営協議会」における議論やご意見の吸収、反映
- 地域の関係機関との連携の推進

《支出の効率化》

引き続き冗費の削減に努めるとともに、効率性の高い業務環境や手法の検討に取り組む。

- ① 適正な財務管理、予算管理に努めるとともに、冗費の削減に努める。
- ② 効率性の高い業務環境や手法の検討を進める。
 - ICT、各種システムの能力拡充の検討
 - ロボット、新たな介護支援機器導入の検討等
- ③ 本館改修等の検討に併せて、新館、別館においても作業効率の高いレイアウトや、職員の負担を軽減する作業環境の検討を進める。…（3）参照

（2）職員の処遇改善と職場環境の改善

職員の質の高いサービスに向けた努力に報い、憂いなく業務に取り組むことができる新しい給与制度、処遇改善や職場環境の改善に努める。

① 新しい透明性の高い給与体系に移行する

- 研修制度の改善検討と昇任・昇格基準の明示・透明化
 - ・ 職員のスキルや知識の向上に直接つながる研修の充実・重点化
 - ・ 透明性を高め、働きがいを引き出す昇任・昇格基準の設定と運用
- 給与体系と研修・人材育成とのリンク
 - 次のインセンティブ等を含んだ新しい給与体系を導入する。
 - ・ 職員の成長へのインセンティブ
 - ・ 経験、知識や資格取得へのインセンティブ

② 職員負担を軽減するための人材確保に努める

業務の効率的な運営を図りつつ、職員に過度の負担が生じないように、人材の確保に努める。

③ 職場環境の改善に努める

各部門や安全衛生委員会の場合などにおいて職場環境の改善に努める。

- 腰痛対策の一層の推進
 - ・ ロボットなどの介護支援機器の導入検討
 - ・ 腰痛を考慮した介護技術の普及研修の徹底
- 資機材等の整理整頓も含めた危険の除去

- 本館改修等の検討に併せて介護負担の低いレイアウト等（トイレ、動線、居室・フロアの配置、見通し等）の検討と具体化・・・（3）参照

（3）本館の全面改修等の検討開始

建設以来 30 年を経過した本館については施設設備の老朽化が進み、またそのレイアウトや設備は必ずしも現在の介護の仕組みにマッチしない部分がある。このため、全面的な改善の検討に着手する。

検討に当たっては、本館単独で考えるのではなく、新館、別館、高志の郷の業務やサービス改善への波及も視野に入れて行い、また、新たなサービスへの活用も視野において検討を進める。

- ① **効率性の高いサービス提供が可能なレイアウト、設備の検討を行う**
 - 事故防止や職員負担の改善を考慮したレイアウトの追及
 - 改修、改築に係わる検討に際しては、可能なものについて新館、別館の運用への反映を意識して実施
- ② **他施設との機能分担の視点を織り込む**
 - 新館、別館との連携、機能分担の考慮
- ③ **施設の効果的な活用による新しいサービスを研究していく**
 - 地域居住総合支援拠点などの研究